



# 第11号

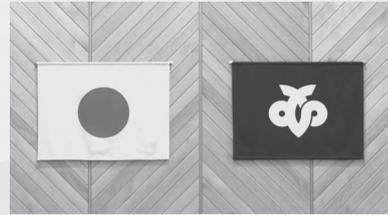
- 議案説明……………P 2
- 議案賛否一覧……………P 5
- 決算審査特別委員会……………P 6
- 常任委員会活動報告……………P 8
- 一般質問……………P 9
- お知らせ……………P12

令和元年 10月25日発行

これまでのむつ市議会だより表紙風景集

# 第241回定例会

令和元年8月27日～9月19日



むつ市議会第241回定例会が、去る8月27日から9月19日までの24日間の会期で開かれました。今定例会では18議案のうち議員提出議案1件・6報告が上程され、審議の結果、それぞれ可決・認定・報告されました。

## 主な議案の説明・質疑

【議案第78号】むつ市森林環境譲与税基金条例（産業建設常任委員会に付託）

森林環境譲与税を活用し、森林の整備およびその促進に関する施策を実施するため、基金を設置するもの

【議案第79号】むつ市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例（民生福祉常任委員会に付託）

印鑑登録証明事務処理要領の一部改正に準じ、旧氏の印鑑を登録可能とする等のため、所要の条文整理をするもの

【議案第80号】むつ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（民生福祉常任委員会に付託）

子ども・子育て支援法並びに特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の条文整理をするもの

### 議案説明・質疑

主な議案の内容についての説明と、その議案に対する質疑と答弁についてご紹介します。

【議案第81号】第83号】人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて

本年12月31日をもって任期満了となる委員、および7月31日をもって退任となった委員の後任について推薦するもの

【議案第84号】令和元年度むつ市一般会計補正予算（5億490万10000円の増額補正）

◎歳入の主なもの  
森林環境譲与税

2158万5000円  
青森・佐井航路維持事業費補助金（県補助金）

2097万1000円  
地域密着型サービス等提供施設整備費補助金（県補助金）

3200万円  
前年度繰越金

4億2192万4000円

◎歳出の主なもの  
離島航路運航維持事業費補助金

3820万9000円

地域密着型サービス等提供施設整備費補助金

3920万円

下北医療センター負担金

3491万3000円

【議案第85号】令和元年度むつ市介護保険特別会計補正予算（民生福祉常任委員会に付託）

（1億2660万50000円の増額補正）

介護給付費負担金等の精算により国、県および社会保険診療報酬支払基金への返還金が生じたこと等に伴うもの

【議案第86号】平成30年度むつ市一般会計歳入歳出決算（決算審査特別委員会に付託）

〔歳入総額〕 361億2089万5106円

〔歳出総額〕 352億3295万8233円  
〔翌年度へ繰り越すべき財源〕 4億6601万2600円

〔黒字額〕 4億2192万4273円

※黒字額は翌年度に繰越

○質疑 希望のまちづくり推進枠の事業について、平成30年度の目玉事業だったとの認識だが、予算の執行率が5割に満たない事業が4事業あった。この4事業とは何か。また、それぞれの執行率は。さらに、その理由と対策、事業目標の達成について。

▼答弁 執行率が5割に満たない4事業とそれぞれの執行率は、「ハイリスク妊産婦アクセス支援事業」の39・4%、「特定不妊治療費助成事業」の44・0%、「自主防災訓練備蓄品提供事業」の39・8%、「まさかり高校講習会」の44・5%となっている。また、その理由については、「ハイリスク妊産婦アクセス支援事業」、「特定不妊治療費助成事業」および「自主防災訓練備蓄品提供事業」については、想定よりも件数が下回ったこと、「まさかり高校講習会」については、積算した予算よりも安く契約できたことが主な理由となっている。希望のまちづくり推進枠については、チャレンジ的な事業であり、これらの理由に起因するものであるため、執行率が5割に満たないから政策効果が十分に発揮されていないということではない。

○質疑 歳入確保の大きな柱の1つである。ふるさと納税について、平成29年度と比較し、額で3900万円、率で20%、件数で約5650件ほど減少しているが、この結果

の分析と挽回策は。

▼答弁 寄附受入額が減少した原因については、高い返礼率やギフト券等の特典をつける自治体が出てきたこと、平成29年度から利用を始めたポータルサイト「さとふる」への登録自治体が大幅に増え、競争が激化したことによるものと推察される。また、財政への影響については、寄附受入額から寄附金の税額控除額と事務的経費を差し引いた実質受入額が、前年度比でほぼ横ばいとなっているため、最小限にとどまっているものと分析している。挽回策については、ふるさと納税の目標額である2億円達成に向けたアクションプランを定めて取り組んでおり、返礼品の魅力アップと消費税対策として、これまで1万円刻みであった寄附区分を1000円刻みとして、寄附・返礼品の種類もふやすことを考えている。そのほか、昨年度好評だったご当地おせちや同窓会、ふるさと会でのPR、リピーターへの声かけなど、できることから取り組んでいきたい。

【議案第87号】平成30年度むつ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算(決算審査特別委員会に付託)

(歳入総額) 64億 982万8892円  
 (歳出総額) 61億5041万2150円  
 (黒字額) 2億5941万6742円

※黒字額は財政調整基金に積立

【議案第88号】平成30年度むつ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算(決算審査特別委員会に付託)

(歳入総額) 5億2796万3401円  
 (歳出総額) 5億2118万6501円  
 (黒字額) 677万6900円

※黒字額は翌年度に繰越

【議案第89号】平成30年度むつ市下水道事業特別会計歳入歳出決算(決算審査特別委員会に付託)

(歳入総額) 13億1688万 645円

(歳出総額) 13億1684万3145円

(翌年度へ繰り越すべき財源)

3万7500円

【議案第90号】平成30年度むつ市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算(決算審査特別委員会に付託)

(歳入総額) 3440万9313円

(歳出総額) 3440万9313円

【議案第91号】平成30年度むつ市介護保険特別会計歳入歳出決算(決算審査特別委員会に付託)

(歳入総額) 65億1305万8344円

(歳出総額) 64億6783万1790円

(黒字額) 4522万6554円

※黒字額は財政調整基金に積立

【議案第92号】平成30年度むつ市魚市場事業特別会計歳入歳出決算(決算審査特別委員会に付託)

(歳入総額) 3277万2574円

(歳出総額) 3277万2574円

【議案第93号】平成30年度むつ市水道事業会計利益剰余金の処分について(決算審査特別委員会に付託)

(未処分利益剰余金) 2億3374万2942円

(純利益) 1億1063万5926円

(残額) 1億2310万7016円

※純利益を減債積立金に、残額を資本金に組み入れるもの

【議案第94号】平成30年度むつ市水道事業会計決算(決算審査特別委員会に付託)

(水道事業収益) 17億6714万7290円

(水道事業費用) 16億2018万8546円

(純利益) 1億1063万5926円

※純利益は消費税および地方消費税を除いたもの

(資本的収入額) 7億5616万4000円

(資本的支出額) 13億4757万9472円

(不足額) 5億9141万5472円

※不足額は過年度分損益勘定留保資金等で補填

【報告第15号】平成30年度むつ市一般会計継続費精算報告書

平成29年度から実施していた田名部中学校整備事業および平成28年度から実施していた関根中学校整備事業が平成30年度をもって終了したため、報告するもの

【報告第16号】平成30年度むつ市水道事業会計継続費精算報告書

平成22年度から実施していた上水道整備事業が平成30年度をもって終了したため、報告するもの

【報告第17号】平成30年度むつ市健全化判断比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき、監査委員の意見を付けて報告するもの

【報告第18号】平成30年度むつ市公営企業会計資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき、監査委員の意見を付けて報告するもの

### 討論(反対討論)

次の4議案に対し、反対討論がありました。

○議案第78号 むつ市森林環境譲与税基金条例

○議案第86号 平成30年度むつ市一般会計歳入歳出決算

○議案第89号 平成30年度むつ市下水道事業特別会計歳入歳出決算

○議案第91号 平成30年度むつ市介護保険特別会計歳入歳出決算

○議員提出議案第2号 青森県核燃料物質等取扱税交付金の市町村配分の見直しについての意見書

(議案の内容は次ページに掲載)

# 青森県知事へ意見書を提出しました

むつ市議会第241回定例会において、22名の議員から提出され議決された「青森県核燃料物質等取扱税交付金の市町村配分の見直しについての意見書」を、提出議員を代表した議員団により、青森県庁にて三村申吾青森県知事へ直接手渡しました。



令和元年9月17日 青森県庁にて

## 議員提出議案第2号

### 青森県核燃料物質等取扱税交付金の市町村配分の見直しについての意見書

県においては、原子燃料サイクル施設の立地に伴う安全確保等の観点から平成3年度に法定外普通税として青森県核燃料物質等取扱税を創設し、安全性確保対策、民生安定対策及び生業安定対策等を実施してきたところである。

その税収は、平成26年度の制度改正以降増収を続け、平成29年度には200億円を突破し、今般の制度改正により、過去5年間と比較して、令和元年度からの5カ年で約12億円増の976億円が見込まれている。

一方で、当該税を原資として平成24年度から立地及び周辺市町村に交付されている青森県核燃料物質等取扱税交付金は、当該税と同様の趣旨で創設されているものの、交付対象市町村への交付額の総額は30億円以内という限度額が設定されており、当該税の増収の効果を享受できない制度となっている。

東日本大震災以降、原子力関連施設においては、新規規制基準への適合性審査が長期化し、計画の延期を繰り返している現状から、立地市町村や周辺市町村では、当初の財政計画から大きく乖離し、厳しい財政運営を強いられている状況にある。

ついでには、計画の延期の長期化により市町村の置かれている実状を御理解の上、立地市町村等において地域経済発展のため、また、民生安定対策、生業安定対策等の強化拡充を図ることができるよう、当該交付金について、30億円以内の限度額を撤廃し、当該税の増収分が当該交付金に合理的に反映されるよう、必要となる制度の見直しを行うことを強く要望する。

# 第 241 回定例会審議結果・賛否一覧表

議案	議案の名称	議決結果	公明・政友会		自民クラブ				市誠クラブ			創世むつ			会派に属しない議員										
			菊池光弘	岡崎健吾	鎌田ちよ子	白井二郎	中村正志	野呂泰喜	濱田栄子	佐々木肇	浅利竹二郎	石田勝弘	菊池広志	東健而	川下八十美	佐賀英生	大瀧次男	半田義秋	富岡修	原田敏匡	山本留義	佐々木隆徳	工藤祥子	目時睦男	斉藤孝昭
78	むつ市森林環境譲与税基金条例	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
79	むつ市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	むつ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて(近原芳栄氏)	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて(工藤幹雄氏)	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて(井田敦子氏)	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	令和元年度むつ市一般会計補正予算	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	令和元年度むつ市介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	平成 30 年度むつ市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	平成 30 年度むつ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	平成 30 年度むつ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
89	平成 30 年度むつ市下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	平成 30 年度むつ市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
91	平成 30 年度むつ市介護保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
92	平成 30 年度むつ市魚市場事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93	平成 30 年度むつ市水道事業会計利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
94	平成 30 年度むつ市水道事業会計決算	認定	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案	議員提出議案の名称	結果	公明・政友会		自民クラブ				市誠クラブ			創世むつ			会派に属しない議員										
2	青森県核燃料物質等取扱税交付金の市町村配分の見直しについての意見書	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

報告	報告の名称	報告のみ																							
15	平成 30 年度むつ市一般会計継続費精算報告書	※報告のみの案件は、市当局から報告を受けるもので賛否を明らかにするものではありません。																							
16	平成 30 年度むつ市水道事業会計継続費精算報告書																								
17	平成 30 年度むつ市健全化判断比率について																								
18	平成 30 年度むつ市公営企業会計資金不足比率について																								
19	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)																								
20	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)																								

※議決日は議会最終日の 9 月 19 日(ただし、議員提出議案第 2 号は 8 月 27 日、議案第 81 号から議案第 84 号は 9 月 10 日に議決)  
 ※○は賛成、●は反対、『欠』は欠席または採決の際に不在の者、『退』は退席、『除』は除斥、議長(白井二郎)は採決に加わらない

議案賛否一覧

本定例会で審議された議案の議決結果・賛否の一覧をご紹介します。

# 平成30年度むつ市一般会計歳入歳出決算ほか

## 各会計決算議案を可決・認定

決算審査特別委員会が9月10日、11日および12日に開催されました。

平成30年度の一般会計・特別会計・水道事業会計の各決算等は、議長および議会選出の監査委員を除く全議員で構成された決算審査特別委員会で審査されました。

決算審査特別委員会の審査結果は、一般会計歳入歳出決算、下水道事業特別会計歳入歳出決算および介護保険特別会計歳入歳出決算について、それぞれ委員1名より反対討論がありましたが、賛成多数で認定すべきものと決定し、ほかの特別会計決算等については、全会一致で可決・認定すべきものと決定いたしました。



決算審査特別委員会  
富岡 修 副委員長



決算審査特別委員会  
東 健而 委員長

### 【一般会計】

歳入	361億2089万5106円
歳出	352億3295万8233円
差引	8億8793万6873円

※翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支(黒字)額は  
4億2192万4273円

### 【むつ市健全化判断比率】

実質公債費比率	16.6(25.0)%
※昨年度決算	17.1(25.0)%
将来負担比率	157.8(350.0)%
※昨年度決算	169.0(350.0)%

※( )内の数字はむつ市の早期健全化基準を示す

#### 【用語解説】

- ・実質公債費比率…その年に負担すべき借入金の返済額の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの
- ・将来負担比率…借入金も含めた負債全体の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会での質疑内容等について、その一部をご紹介します。

### 主な質疑と答弁(一般会計)

#### ◎歳出について

##### 【総務費】

○質疑 総務費について、増額補正をしているながら、決算で1億4000万円という不用額を出している理由は。

▼答弁 人件費は、年度中での増減があり、不用額が出るということについては、もともと想定されていたことを理解いただけたと思うが、指摘をいただいたので、今後は不用額についてしっかりと説明できるようにさせていただく。

##### 【総務費(コミュニティ推進費)】

○質疑 地域コミュニティチャレンジ事業を利用した町内会の割合およびその使い途について。また、不用額が多く出ているがその認識について。

▼答弁 83.5%が利用し、自主防災組織の結成や、外部講師による町内会活動の支援アドバイザー、そのほか地域内敬老会等の実施というものの中から3事業を上限として利用いただいている。また、不用額については、コミュニティ助成事業において当初18団体3660万円を予算

計上したが、2件290万円の採択であったため、差し引き額が不用額となった。

【総務費(地方創生関連交付金事業費)】

○質疑 「むつ市のうまい三本の矢」海外展示商談会や見本市での地産外商において、継続して行なっているものはどのようなものがあるか。

▼答弁 シンガポールや香港でのプロモーションについては、今年度も継続して予算計上しており、産品としては川内のホタテ、海峽サーモンや斗南丘の牛乳製品といったものを対象としている。

【民生費(児童福祉総務費)】

○質疑 児童虐待防止対策支援事業の内容と相談件数は。

▼答弁 子育て支援課に家庭児童相談員を2名配置し、児童の養育、虐待等に関する相談に応じており、平成30年度は相談件数142件のうち56件が児童虐待に関するものであった。

【労働費(労働諸費)】

○質疑 新規高卒者市内定着支援事業について、企業見学会には市内外の高校が参加しているが、事業の範囲はどうなっているか。また、これら見学した企業や地元企業への就職者は把握

しているか。

▼答弁 むつ市に住所のある生徒が通っているため、市外の高校も参加校に含まれている。昨年の見学会の対象が高校1・2年生であるため、今春の就職にはまだ含まれていないが、これから市内就職に結びつけたい。

【商工費(商工振興費)】

○質疑 起業家ワンストップ支援事業の内容について。

▼答弁 創業する方の資金調達の際に、融資額元金の利子額を補給するもので、対象は新たに創業した方となり、15万円を上限としている。平成30年度は3名の方に利子補給している。

【土木費】

○質疑 繰越明許した事業内容とその理由は。

▼答弁 橋りよう長寿命化修繕事業で、平成29年度の荒川橋架替工事が長引いて完了し、その後に必要な工事の工期確保のため繰り越した。横町中央2号線整備事業で、平成29年度の工事が長引いて完了し、その後工事1件と関連工事1件の工期確保、また、用地交渉を次年度も継続して行なうため繰り越した。大湊地区居住誘導区域整備事業で、マーケット

サウンディングや関係機関との協議に時間を要し、年度内の事業着手が見込めないため繰り越したものである。

【土木費(河川総務費)】

○質疑 河川の維持管理委託の内容について。

▼答弁 市が管理する河川については、むつ地区で準用河川1、普通河川37、川内地区で準用河川2、普通河川8、大畑地区で普通河川16、脇野沢地区で普通河川5の計69河川、総延長137・39キロメートルあり、維持作業については、台風などによる河床の洗掘や護岸の被害といったものの復旧を行なっている。

【教育費(義務教育振興費)】

○質疑 いじめ問題対策委員会委員について、委員の報酬、費用弁償の計上額が少ないが、運営方法や協議内容の周知はどのようになっているか。

▼答弁 むつ市いじめ防止基本方針における対策の取り組みについて点検および評価し、翌年度の取り組みを委員に説明している。また、4月の校長会との合同会議で、校長に1年間の取り組みを説明し、いじめ防止に関するお願いをしている。

◎歳入について

【市税】

○質疑 市税収入が前年度より少なくなったことによる市の経済の動向についてどのように分析しているか。また、調定額と収入済額の乖離についてどう考えるか。

▼答弁 市民税については前年度と比較し、1555万945円減少しており、主な要因は株式譲渡による譲渡所得が大きく減少したことによるが、所得区分ごとの比較をみると、給与所得が180万6000円の減、営業所得が767万1000円の増となっており、このことから市内景況については前年度から大きな変動はないと考えている。また、調定額から収入済額および不納欠損額を差し引いた収入未済額2億9993万1979円については、固定資産税、市民税の滞納繰越分が主なものである。この解消については、前年度と比較し滞納繰越額が減少しているところであり、今後も新たな滞納者をふやさない対策とともに、青森県市町村税滞納整理機構と連携した徴収強化を図り、収入未済額の圧縮に努めたい。

【その他】

○質疑 原発関連交付金の総額は。  
▼答弁 市の歳入分は、電源立地地域対策交付金の17億3563万3174円と青森県核燃料物質等取扱税交付金の3億1965万円で20億5528万3174円となる。さらに、むつ総合病院交付分3億6000万円を加えた、24億1528万3174円が原子力関連施設に係る交付金の総額となる。

【主な質疑と答弁(特別会計)】

平成30年度むつ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

○質疑 平成30年度決算で累積赤字が解消されたが、次期改定にどのような影響があるのか。

▼答弁 平成19年以来、11年ぶりの黒字により財政調整基金を積み立てることができたが、被保険者の減少や高額薬剤への保険適用などでの医療給付費の増、国の財政支援制度など不確定要素が多いことから引き続き安定運営に努めたい。

○質疑 国民健康保険加入者の層や約4億9000万円という収入未済額の多さから考えられる納付の状況について。

▼答弁 平成30年度国民健康保険

税滞納者総数のうち、所得が200万円未満の世帯が約6割となつていことから、一度滞納となると複数年分の納税が重なり納付できなくなる環境が考えられる。そのため納税週間に設けて納税相談に力をいれている。

平成30年度むつ市下水道事業特別会計歳入歳出決算

○質疑 下水道料金の値上げによりふえた使用料は。

▼答弁 大畑地区304万円、川内地区154万円、脇野沢地区50万円、漁業集落排水施設使用料が9万円で、合計金額は517万円となっている。

平成30年度むつ市介護保険特別会計歳入歳出決算

○質疑 介護保険料の滞納状況と保険料引き上げによりふえた額は。

▼答弁 介護保険料の未納額は2584万8100円で、滞納者は567人。料金改定による影響額は推計で1億3841万5200円となる。

平成30年度むつ市水道事業会計決算

○質疑 借入金の総額と借り換えについて。  
▼答弁 企業債残高は約126億円となつており、借り換えについては対象となるものは全て終了している。

常任委員会活動報告

【産業建設常任委員会】

○9月10日付託議案審査

付託された議案1件について関係部長等の出席を求め審査を行ない、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)

・議案第78号 むつ市森林環境譲与税基金条例

問 基金を活用するタイミングについて。

答 喫緊の課題として森林整備が急がれることから、森林環境譲与税が譲与される年度で活用していく。

問 森林環境譲与税は公有林と私有林のどちらの整備を行なうものなのか。

答 森林環境譲与税は公有林と私有林のどちらの整備を行なうものなのか。また整備する箇所の選定については。

答 経営の難しい私有林に対して森林環境譲与税を使って整備していく。また整備については現在5年計画の森林経営計画で計画的に整備が行われているが、当該計画が立てられていない地区から整備していく。

問 林道の補修について。

答 予算の関係から直しきれない箇所もあったことから、今後は林道の補修に関しても森林環境譲与税を活用していきたいと考えている。



【民生福祉常任委員会】

○9月10日付託議案審査

付託された議案3件について関係部長等の出席を求め審査を行ない、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)

・議案第79号 むつ市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

問 新たに旧氏の印鑑登録をした場合、現行のものと印鑑登録が二つになるのか。

答 これから結婚をされる方は旧氏をそのまま使用することができ、すでに結婚されている方は旧氏に改印できることを定めたものであり、印鑑登録を二つ行えるものではない。

# ここが聞きたい！

## 一般質問

市民の要望を市政に反映させるための一般質問。  
各種の行政課題を取り上げて2日間にわたり10人の議員が活発な論戦を展開しました。



自民クラブ  
濱田 栄子

問 ワシントン州ポートエンジェルス市との今後の交流について。  
答 来年は姉妹都市盟約締結から25周年の節目を迎えることから私も1月にポートエンジェルスを訪問することとしており、25周年記念行事を企画していただいている。今後もグローバル化の進展に対応するため異文化への理解など、国際感覚の養成に努める交流を推進したいと考えている。

問 地域交通について、バス料金は、脇野沢からむつ市内まで往復3600円、川内から往復2360円、大畑赤川地区から往復2160円、奥内から往復1000円となっている。収入が国民年金のみの方にとつて、通院時のバス料金の負担も大きいと思う。バス、タクシー会社等と連携をとり、市内の病院巡回バスの運行が出来ないか伺います。

答 民間の医療機関を循環するバスの運行については、民間の医療機関が運行主体となつて運行されている送迎バスもあることから、需要があれば医療機関において検討がなされるべき。

※このほか、「バイオマス発電について」の質問がありました。



公明・政友会  
菊池 光弘

問 道路ストック総点検事業について。  
答 今年度は舗装や小規模付属物等の個別点検を実施している。

問 令和元年度における路面下空洞調査計画について。  
答 今年度の路面性状調査の結果を踏まえ今後必要であれば、来年度以降の実施を検討する。

問 小学校でのプログラミング教育について必修化されるねらいは、また、どんな授業になるのか、また、課題はあるのか。  
答 必修化されるねらいは「プログラミング的思考」を育むことをねらいとしております。また、論理的思考力が身につく授業となつている。そして、課題については、情報提供や研修講座の充実が必要と考えます。

問 低投票率について、むつ市選挙管理委員会独自の施策は。  
答 10月に行なわれる市議会議員一般選挙においては、市内の高校3校に自動車による移動期日前投票所を開設し、気軽に投票できる環境を提供することで、投票に関心を持っていただきながら投票率の向上につなげてまいります。田名部高10月1日と4日、大湊高同2日、むつ工は同3日それぞれ開設する。



市誠クラブ  
東 健而

問 財政問題について、今年度で終わる普通交付税の合併算定替えの額と予算に与える影響について、また代替の財源は。  
答 削減額は令和2年度で約7800万円、財源対策は中期見通しを作成し、財政健全化の目標とその達成のための重点事項を掲げ市民の皆様からのご理解とご協力を得ながらこの取り組みを着実に推進していく。

問 合併算定替え後の削減額が予算に与える影響について。  
答 使い途が限定されない一般財源の減少となることから財政への影響は大きく、財政中期見通しに基づき財政健全化対策を講じている。

問 合併特例債の利用期限と残額終了後の財政に与える影響は。  
答 残額は約56億円、財政への影響は少ないと考えている。

問 4指標と財政力指数について。  
答 実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字を生じていない。実質公債費率、将来負担比率とも改善し、財政力指数は0.377、プライマリーバランスは約7億7000万円の黒字。  
要 財政力指数が1から相当下回っている、市民に負担を強いることがないように願いたい。

※このほか「公共用建築物の耐震強度について」の質問がありました。

一般質問

一般質問の内容を一部要約して紹介します。



公明・政友会  
鎌田ちよ子

問 立地適正化計画と公共交通についで。

答 下北地域公共交通網形成計画において、本年度は、むつ市街地における既存路線の見直しも含めた循環路線の様々な角度から検討している。

問 生活交通確保対策について。

答 市内の高齢化率は、平成28年29・5%、平成29年30・4%、平成30年31・5%。高齢者独居世帯率は、平成28年10・0%、平成29年11・5%、平成30年12・8%と増加傾向である。平成29年度、計画策定にあたり下北圏域在住の18歳以上の男女6000人を対象に郵送配布によるアンケート調査を実施し、回収数は2239人、回収率37・3%で、統計上十分に意見を伺っていると認識している。

問 子育て世代包括支援センターについて。

答 来年4月に開設予定であり、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して、総合的相談支援をワンストップで提供する拠点である。今年度は医療機関をはじめ関係機関及び関係各課との定期的なカンファレンスの実施や個別支援プラン策定の試行的実施、相談体制の整備等に取り組んでいる。

※このほか、「子育てSOSサービスについて」「電子母子手帳導入について」の質問がありました。



無会派  
工藤祥子

問 ふれあい温泉川内、湯野川温泉、泉濃々園の改修を早くしてほしいという声があちこちから届く。

答 指定管理者の川内商工会と協議しながら行なう。

問 管理者の声とプラス市民の声をしっかりと受け止めていただきたい。

答 ふれあい温泉の屋根の修理について予算化しており、これからの発注となる。

問 かわうちまりんびーち開設期間の半分以上が遊泳禁止となつた。その原因と対策は。

答 児童がカギノテクラゲに刺され、安全のため禁止した。100%ではないが、アマモとクラゲとの関連性も考えられ、アマモを駆除し、クラゲの生息調査を行ない再オープンした。

問 今後、生息調査、情報の周知を徹底し、しっかりと考えていきたい。

答 平成29年に青森県市町村税滞納整理機構に、むつ市が加入した。その理由は。

答 滞納整理の専門機関に加入し、税の収納率向上をはかるため。

問 強権的回収が全国で問題となっている。納税困難の背後にある事情を聞き、機構への移管は慎重にすべき。

答 連絡がなく、納税意識の低い徴収困難な案件95件を年度末に移管した。



自民クラブ  
浅利竹二郎

問 市民生活と社会不安について。

答 (1) 格差が生み出す社会不安をどう見るか。

(2) 市民生活における相対的貧困の実情は。

(3) 貧困高齢者急増への意識は。

(4) 生活困窮者の窮状をどのように把握しているか。

(5) 生活困窮者支援の周知についてどのように努めているか。

答 生活困窮に関する相談件数は、平成29年度124件、平成30年度229件と増加しており、相談窓口の需要が高まっていることから、就労が可能な方には関係機関と連携して就労支援を行なうとともに、就労が見込めない方には生活保護へ移行するなど最低限度の生活の確保に努めている。また、現在、生活保護を受給している世帯のうち、高齢者世帯の占める割合は57・9%となっており、年々増加傾向にあることから、民生委員の協力を得ながら、生活に困窮する方が必要な援助を受けられるよう取り組んでいる。

問 経済的困窮や貧困に対応するため、平成27年度に、生活困窮者自立相談支援の窓口を、生活福祉課に設置している。

答 経済的困窮や貧困に対応するため、平成27年度に、生活困窮者自立相談支援の窓口を、生活福祉課に設置している。



創世むつ  
佐賀英生

問 健康診断の受診率の推移とお知らせ、及び受診結果のミスについて。

答 受診率の推移については、国保の特定健康診査については、平成29年度の受診率は32・1%で前年度より1%アップ、後期高齢者健診では、12・5%で前年度から0・5%アップしている。

各種がん検診の平成29年度と平成30年度の推移は、胃がん検診および乳がん検診の受診率は伸びてはいるが、大腸がん検診、肺がん検診は伸び悩んでいる現状にある。

問 受診率を高めるために、web検診予約システムの導入を予定している。

答 受診結果のお知らせは、医療機関から直接結果をお知らせしており、ミス等はないと考えている。

問 認知症患者の人数と推移について。

答 平成26年3月末で2500人で、平成31年3月末で2800人と増加している。

問 住民基本台帳に基づく推計では本年度がピークを迎える。

答 人口問題研究所のむつ市人口ビジョンでは、ここ5年位の間はピークになると考えている。

問 経済的困窮や貧困に対応するため、平成27年度に、生活困窮者自立相談支援の窓口を、生活福祉課に設置している。



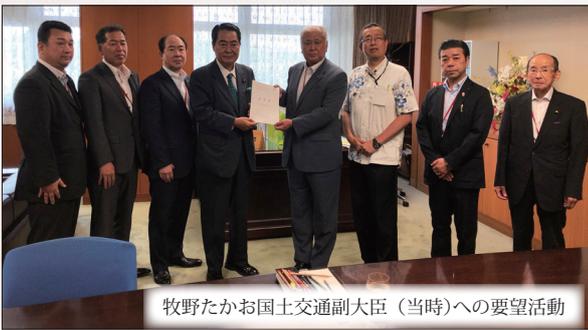
# 要望活動を行ないました！

令和元年7月30日から8月1日までの日程で、野呂泰喜副議長はじめ6名の議員が、「下北半島縦貫道路の整備促進について」、「海上自衛隊大湊基地港内等の浚渫及び大型艦艇の配備について」の2項目の要望活動を行ないました。

7月30日は国土交通省東北地方整備局と防衛省東北防衛局へ、31日は国土交通省と防衛省、青森県選出国會議員へ要望活動を行ないました。

地域住民の長年の強い願いである、下北半島縦貫道路の整備促進について実情を説明し、既着手区間の整備促進と未着手区間の早期事業化を強く訴えました。

続いて訪れた防衛省では、江渡聡徳衆議院議員および津島淳衆議院議員とともに、原田憲治防衛副大臣（当時）および山村浩海上幕僚長に対し、海上自衛隊大湊基地港内等の浚渫及び艦艇配備について、その必要性について説明し、早期の実現を訴えました。



牧野たかお国土交通副大臣（当時）への要望活動



原田憲治防衛副大臣（当時）への要望活動



山村浩海上幕僚長への要望活動

## 第154回臨時会の予定

10月30日(水) 本会議(開会、正副議長選挙、委員の選任、議案質疑ほか、閉会)

※日程は10/25の提出議案等説明会にて正式に決定いたします。

## 第242回定例会の予定

11月27日(水) 本会議(開会)・常任委員会

12月6日(金) 本会議(一般質問)

9日(月) 本会議(一般質問)

10日(火) 本会議(一般質問)

11日(水) 本会議(一般質問)

12日(木) 本会議(議案質疑ほか)・常任委員会

13日(金) 常任委員会

20日(金) 本会議(閉会)

※日程は11/22の議会運営委員会にて正式に決定いたします。

## 議会のうごき

1日 全国市議会議長会基地協議会 正副会長・監事・相談役会 全国市議会議長会基地協議会 第94回理事会	23日 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟 設立総会
2日 基地関係国会議員との情報連絡会	27日 議会運営委員会 本会議(開会)・常任委員会
5日 会派代表者会議	会派代表者会議
9・10・18日 広報広聴委員会	30日 広報広聴委員会
19日 会派代表者会議	4日 議会運営委員会
24日 東北市議会議長会 第94回理事会 広報広聴委員会	本会議(一般質問)
30日 下北総合開発期成同盟会 令和元年度青森県に対する重点事業説明会 国への要望活動(～8/1)	5日 本会議(一般質問)
6日 広報広聴委員会	10日 議会運営委員会 本会議(議案質疑ほか)・決算審査特別委員会・常任委員会
7・16日 会派代表者会議	11日 決算審査特別委員会
22日 議会運営委員会	12日 決算審査特別委員会
	19日 議会運営委員会
	本会議(閉会)

むつ市議会はホームページやフェイスブックで積極的に情報発信を行うことでより身近で開かれた議会を目指します

【ホームページ】



<http://www.city.mutsu.lg.jp/index.cfm/40.html>

【facebook】



<https://www.facebook.com/mutsushigikai/>

## 編集後記

近年、日本をとりまく出来事は、地震、津波、台風、大雨など災害に関する事ばかりです。最近の台風15号は千葉県に大きな爪跡を残しました。数年前の大雪による交通マヒがありました。災害は忘れた頃にやってくるという言葉は、避難訓練など日頃の備えが大切と実感します。市議会の活動も身近にわかりやすく報告し、市政も身正しく行なうことが大切です。市議会は、市民の声を代弁し、市政の発展に貢献する責務を担っています。議員の活躍に大いに期待しています。

石田勝弘